



Future Technologies from Kumamoto フォトコンテスト 高校生部門

シンポジウム会期：2023年11月6日～9日
テクニカルセッション 11/6～11/8 テクニカルツアー 11/9
テクニカルセッション会場：熊本城ホール

Future Technologies from Kumamoto (以下本シンポジウム) はセンサ・マイクロマシン技術のさらなる発展を目標に、学・協会を超えた研究グループ間の情報交換、研究成果およびアイデアの討議の場として開催される、当該分野における日本最大のシンポジウムです。シンポジウムと同時開催で、フォトコンテストへの応募作品を募集しております。

フォトコンテスト企画概要：

マイクロマシン、微細加工等を知らない一般の方が興味を持ちそうな科学的・技術的写真を募集し、応募作品(写真・動画)と作品の概要を学会会場内入口付近に展示いたします。研究分野の異なる研究者や、MEMS(マイクロマシン)、微細加工等を知らない一般の方が興味を持ちそうな写真や映像作品を募集し、会期中、応募作品と作品の概要を会場の入口付近に展示致します。あなたの開発したデバイス(成功、失敗は問いません)の写真または映像作品でアピールしてみませんか。

5部門で募集！写真または15秒以内のCGや動画を募集

1. ナノ部門：写真の長辺が100 μm 未満の作品
 2. マイクロ部門：写真の長辺が100 μm 以上、1000 μm 未満の作品
 3. ミリ部門：写真の長辺が1mm以上の作品
 4. 高校生部門：顕微鏡やスマホで拡大撮影した小さな構造物
 - ✓ 高校にある顕微鏡で可能な写真可
 - ✓ スマートフォンのカメラ機能での写真(拡大)可
 - ✓ 一眼レフカメラ・デジタルカメラでの写真可
 - ✓ できるだけ小さな構造体で特に大きさは求めない
 - ✓ 自然科学に関係するものであれば、分野、領域は問わず高校生の豊かな発想で撮影
(例)幾何学的な模様、同様の構造が規則的に並んでいる、光の屈折や散乱
 5. 企業スポンサー部門：自社製品の写真、自社製品を用いて撮影した写真、自社製品を用いて加工したデバイス写真や動画で会社をアピールしませんか？詳しくは下記企業部門欄をご覧ください。
 6. ロゴマークデザイン部門：部門大会開催40回を記念して、電気学会センサ・マイクロマシン部門(E部門)ではロゴマークを募集いたします。詳しくはシンポジウムHPをご覧ください。
- 各部門で最優秀賞1作品、優秀賞1作品(予定)を表彰いたします。最優秀作品には豪華副賞もご用意しております。

応募対象者

投稿者、連名者のうちどなたか学会に参加され、フォトコンテスト表彰式に出席できる方。(高校生部門において、表彰式参加に係る旅費は実行委員会にて負担します。)

作品

電子顕微鏡写真や光学写真などの写真または15秒以内のCGや動画であれば応募できます。大会ホームページ等に掲載されますので、著作権は投稿者(もしくは連名者)が所有するもの、または権利者から事前に使用承諾を得た作品に限ります。

申し込み方法

以下のURLよりオンラインでお申込みください。

高校生部門申込フォーム

<https://jp.surveymonkey.com/r/FT2023-Photocon-3>

名前(投稿者、連名者、指導教員)、学校名、連絡先(e-mailアドレス)、作品のタイトル(20文字以内)、作品の概要(100文字以内)を添えて応募作品を電子ファイル(PDF、DOC、DOCX、PNG、JPG、JPEG、GIF、16M以下)または[共有サイト](#)にてご提出ください。

申込期限：9月15日(金)

※注意事項

- ・著作権は投稿者(もしくは連名者)が所有するもの、または権利者から事前に使用承諾を得たものであること。
- ・作品の著作権譲渡は求めませんが、ご投稿頂いた作品は学会報告等で使用させて頂く事がありますので、使用を予め承諾下さい。
- ・作品の明るさやコントラスト、および寸法追記などの微調整は可です。写真作品の場合は合成加工は不可とします。

企業部門について

自社製品の写真、自社製品で撮影した写真、自社製品を用いて加工した物の写真やCG(他部門同様15秒以内の動画でも可)作品であれば応募が可能です。写真作品を通して、御社製品のアピールをしませんか？

出展料：1作品3万円

作品とともに、製品説明、関連URL、問合せ担当者等を掲載いたします。応募フォームから応募の後メールで出展確認書をお送りします。

Future Technologies フォトコンテスト 2022年応募作品は[こちら](#)から参照ください。

お問合せ先：

第40回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局 sensorsympo_2023@semiconportal.com
<https://www.sensorsymposium.org/>

高校生部門 作品例

【SS39 高校生部門最優秀賞作品】



HSI 花開く硬骨:

紀伊 葉月, 友行 暖乃, 立石 侑己 (徳島県立脇町高等学校)
(指導教員: 津川 大輔)

私たちは、吸盤状の腹鰭をもつハゼ科の淡水魚であるヨシノボリに興味を持ち、その吸盤の構造について研究を行いました。その中で、吸盤中の硬骨について調べるため透明標本を作成したときの写真です。

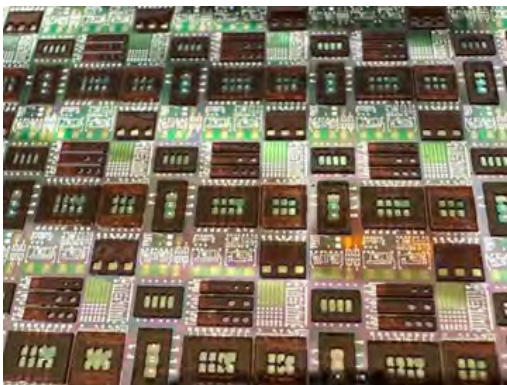


シリコン基板上のピーナッツ

電気 太郎 (熊本県立〇〇高校)

(指導教員: 〇〇 〇〇)

シリコンウェハ上に播種した動物細胞が凝集し、ピーナッツのような形になりました。なぜこの分離が起こったのか原因解明中です。

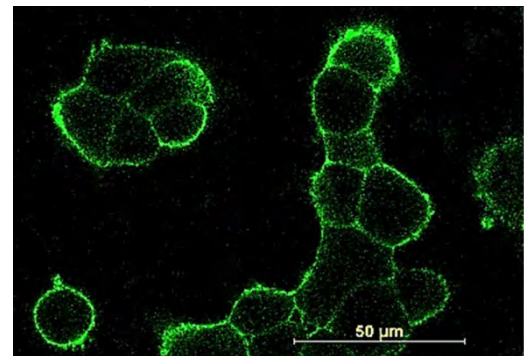


基盤目状都市の夕暮れ

学会 次郎, 部門 花子 (熊本市立〇〇高校)

(指導教員: 〇〇 〇〇)

微細構造のパターニングを眺めていると、ミニチュアの世界に飛び込んだような楽しい錯覚を覚えます。基盤目状のどこに自宅を構えようか悩みます。



ナイトメアビフォアセンサシンボ

枚黒 良子 (熊本県立〇〇高校)

(指導教員: 〇〇 〇〇)

動物細胞の細胞膜タンパク質を蛍光色素でラベルし、蛍光顕微鏡で観察したところ、独特な世界に引き込まれ帰ってこれなくなる世界観の写真が取れました。